

誰でも「運の良さ」は身につけることができる

実際、人生において、逆境を越え、道を拓いた人々を見るならば、誰もが、この「シンクロニシティ」を感じる力が強いことに気がつきます。

例えば、かつて、ある研究者が、政治家、経済人、文化人など、様々な分野で成功を遂げた人々の自伝を分析したのですが、その研究結果が、興味深いことを教えてくれます。

その研究は、こうした「人生の成功者」が、自伝において、どのような言葉を最もよく使っているかを調べたものでした。

研究実施前の予想では、こうした成功者たちは、「必死の努力をして」や「強い信念を持って」といった言葉を最もよく使っているのではないかと考えられたのですが、この予想に反して、実際に最もよく使われていた言葉は、「偶然」「たまたま」「ふとしたことから」「丁度そのとき」「折よく」「運よく」といった言葉だったのです。

これは、表層的に解釈すれば、「人生の成功者たちは、誰も、運が強い」ということのように思えますが、実は、そうではなく、「人生の成功者たちは、誰も、シンクロニシティを感じる力が強い」ということなのでしょう。

例えば、ある経営者は、資金繰りに困っているとき、たまたま電車に乗り合わせた人と知り合いになり、その人の紹介から資金を得ることになります。

また、ある映画俳優は、生活に困っていたとき、ふとしたことから誘われて働いた仕事が見つかけとなり、俳優の道を歩むことになります。

しかし、我々の日々の生活や仕事においては、「たまたま電車に乗り合わせる」「ふとしたことから誘われる」といった「偶然」は、無数に起こっています。

そうであるならば、これらの成功者たちは、それらの「無数の偶然」の中から、そのときの自分にとって「意味のある偶然」を、無意識に感じ取る力が鋭いのでしょう。

ただ、それが無意識の世界であるため、彼らは、そうした出来事を、「たまたま」「ふとしたことから」「丁度そのとき」といった言葉で語っているだけなのです。

そうであるならば、成功者の条件としてしばしば語られる「運が強い」という資質も、

実は、こうした「意味のある偶然」を感じ取る力が鋭い、ということでもあるのです。

このように、この「シンクロニシティ」Ⅱ「意味のある偶然」を感じ取る力を高めていくことは、逆境を越え、人生を拓いていくために、極めて大切なことですが、そうした力を高めていくためにも、まず、「引き受けの技法」を実践することを勧めます。

すなわち、仕事や人生において、失敗やトラブルに遭遇したとき、たとえそれが「自分には原因や責任が無い出来事」であっても、まずは、それを「自分に責任のある出来事」として「引き受け」、その出来事が起こったことの「意味」を深く考えることです。

そして、その出来事が自分に何を教えるようとしているのか、何を学ばせようとしているのかを考えることによって、それを自分の心の成長へと結びつけていくことです。

この「引き受けの技法」は、様々な失敗やトラブルを体験しながら、何年かの歳月をかけて身につけていく技法ですが、もし、我々が、この技法を通じて、深い「解釈力」を身につけ、「心の強さ」を身につけていくならば、いつか、我々は、次の言葉が真実であると感ずるようになっていくでしょう。

人生において起こること、すべてに深い意味がある